

山 岳 遭 難 発 生 状 況

(令和8年1月1日～令和8年8月16日)
地域部 山岳安全対策課

1 山岳遭難発生状況（暫定値）（令和7年数値は1月1日からの同期間数値）

区 分	発生件数	死 者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
令 和 8 年	217	33	2	94	115	244
令 和 7 年	232	33	3	111	117	264
前 年 同 期 比	-15	0	-1	-17	-2	-20

2 山域別発生状況

区 分		件 数	件数比率	死 者	行方不明	負 傷 者	無事救出	遭難者計
北 ア	槍穂高	30	13.8%	3	0	15	18	36
	後立山	72	33.2%	17	0	26	42	85
	その他	25	11.5%	2	0	15	10	27
計		127	58.5%	22	0	56	70	148
中央アルプス		13	6.0%	0	0	7	7	14
南アルプス		8	3.7%	1	1	4	2	8
八ヶ岳連峰		22	10.1%	5	0	8	11	24
その他の山岳		47	21.7%	5	1	19	25	50
計		217		33	2	94	115	244

3 態様別発生状況

区 分	件 数	件数比率	死 者	行方不明	負 傷 者	無事救出	遭難者計
転・滑落	60	27.6%	15	0	49	0	64
転 倒	41	18.9%	0	0	40	1	41
病 気	17	7.8%	6	0	0	11	17
道 迷 い	25	11.5%	0	0	0	35	35
落 石	0	0.0%	0	0	0	0	0
雪 崩	3	1.4%	2	0	1	0	3
落 雷	1	0.5%	0	0	1	0	1
疲労凍死傷	37	17.1%	3	0	0	38	41
不明・他	33	15.2%	7	2	3	30	42
計	217		33	2	94	115	244

4 男女別・年齢別比率

区 分	男 性					(人) 比率	女 性					(人) 比率	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計		死者	不明	負傷	無事	計		人数	比率
19歳以下	1	0	1	5	7	42 24.9%	0	0	1	3	4	21 28.0%	11	63 25.8%
20代	2	0	5	16	23		0	0	1	5	6		29	
30代	1	0	4	7	12		1	0	2	8	11		23	
40代	4	0	10	9	23	59 34.9%	1	0	2	2	5	23 30.7%	28	82 33.6%
50代	5	0	17	14	36		1	0	12	5	18		54	
60代	11	1	12	19	43	68 40.2%	2	0	8	4	14	31 41.3%	57	99 40.6%
70以上	4	1	10	10	25		0	0	9	8	17		42	
計	28	2	59	80	169		5	0	35	35	75		244	
比 率	69.3%						30.7%							

(※ 比率の計は、小数点の調整上、一致しない場合あり。)

先週の発生（8/10～8/16）

日付	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
8月10日	北アルプス 白馬乗鞍岳	男	54	負傷	転倒	単独で樽池から白馬岳に向けて登山中、スリップし、転倒、負傷
						上記遭難現場写真
8月11日	北アルプス 白馬鍵ヶ岳	男	40	無事救出	疲労	2人パーティで猿倉から入山し、白馬鍵温泉周辺の山小屋へ宿泊中、疲労により、行動不能
8月11日	北アルプス 槍ヶ岳	男	55	負傷	転倒	8/9単独で上高地から南岳に向けて登山中、天狗原付近で、転倒、負傷。 8/11槍沢を下山中に、怪我の影響と疲労で、行動不能
8月11日	北アルプス 白馬岳	男	70	負傷	転倒	3人パーティで白馬大雪渓を下山中、バランスを崩し、転倒、負傷
8月11日	北アルプス 槍ヶ岳	男	77	無事救出	疲労	2人パーティで槍ヶ岳から下山中、槍沢グリーンバンド付近で、疲労により、行動不能
						上記遭難現場写真
8月12日	南アルプス 鋸岳	男	59	負傷	転倒	単独で角兵衛沢を下山中、岩につまずき、転倒、負傷
8月12日	北アルプス 白馬岳	男	65	負傷	転倒	単独で白馬大雪渓を下山中、スリップし、転倒、負傷
8月12日	北アルプス 蝶ヶ岳	男	56	無事救出	疲労	単独で蝶ヶ岳から三股登山口へ下山中、疲労により、行動不能
8月13日	南アルプス 仙丈ヶ岳	男	61	負傷	転落	2人パーティで北沢峠から入山し、仙丈ヶ岳周辺の山小屋へ宿泊中、山小屋内の階段から転落し、負傷
8月13日	北アルプス 蝶ヶ岳	男	36	無事救出	発病	単独で上高地から入山し、蝶ヶ岳周辺の山小屋へ宿泊中、体調不良のため、行動不能
8月13日	北アルプス 白馬岳	女	47	無事救出	発病	2人パーティで樽池から入山し、白馬岳周辺の山小屋へ宿泊中、体調不良のため、行動不能

8月13日	北アルプス 餓鬼岳	男	64	死亡	滑落	単独で餓鬼岳から白沢登山口へ向け下山中、魚止ノ滝付近で、何らかの原因により、滑落
8月13日	北アルプス 北穂高岳	男	24	負傷	滑落	単独で南岳から北穂高岳へ向け縦走中、A沢のコル付近で、滑落、負傷
						上記遭難現場写真
8月13日	北アルプス 白馬岳	男	26	無事救出	疲労	2人パーティで猿倉から白馬岳へ向け登山中、疲労により、行動不能
8月15日	中央アルプス 空木岳	男	58	無事救出	その他	3人パーティで空木岳から池山方面へ下山中、小地獄付近で、木の根につまずき、滑落。怪我はないが、自力で登山道へ復帰できず、行動不能
8月16日	南アルプス 三伏峠	男	52	無事救出	発病	2人パーティで三伏峠付近を行動中、体調不良により、行動不能

山岳安全対策課からのアドバイス

先週県内では、16件の山岳遭難が発生しました。

北アルプス餓鬼岳では、下山中の滑落による死亡遭難が発生したほか、北アルプスを中心とした高山帯で、転倒や疲労による行動不能遭難が相次ぎました。

【高山病に注意】

先週発生した遭難の内、3件は高山病による遭難です。「頭痛」や「吐き気」といった比較的軽度の症状や、縦走登山中（高地環境に連泊等）に症状が重篤化し、緊急性を要する、「高地肺水腫」での遭難事例もありました。

宿泊地（山小屋等）に到着したら、疲れていてもすぐに横にならず、環境に体を慣らすため、自発的な呼吸と水分・カロリー摂取を意識しましょう。症状等が改善しなければ、早期に下山し、高度を下げる必要があります。

登山は自然が相手のスポーツ（冒険）であると同時に、自身と向き合うスポーツ（冒険）でもあります。自然環境によるリスクへの対処・・・その前に、まずは、「自身の健康上のリスク管理」が最重要です。登山当日の体調、過去の病歴、自身の体質（高山病になり易い等）、体力度合い等、冷静かつ慎重に見極めて、決して無理のない判断をしてください。